

2026 年度 大学院春季入試（法律学専攻）

博士課程（前期）

専攻科目 民事法演習（商法・王学士）

---

【合否判定の方法】

・一般 1 方式《外国語科目》《専攻科目》《面接》

提出書類、外国語科目と専攻科目の筆記試験の成績、および面接の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

一般 2 方式《専門科目》《専攻科目》《面接》

提出書類、専門科目と専攻科目の筆記試験の成績、および面接の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

【合否判定の基準】

法律学専攻の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)に基づき、提出書類、筆記試験の結果、および面接の結果を総合的に評価し、研究計画の妥当性および博士前期課程における研究遂行能力の有無を判断する。

1 試験日： 2026 年 2 月 13 日

2 科目： 専攻科目 民事法演習（商法・王学士） （100 点満点）

3 出題意図：

本問は、会社法上の基本概念である「社団性」の意義を正確に理解しているかを問うものである。具体的には、現行法の下で定義されるさまざまな種類の会社に関し、一人会社の社団性という論点を正確に論述できるかを評価する。大学院での研究を遂行する上で必要とされる、会社法に関する必要な学識及び応用能力を最終的に判定する試験とすべく、特に、受験者が思考力、判断力、応用能力、論述力等を有するかどうかに関し評価の重点を置く。

以上